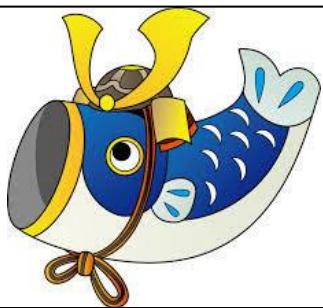


产地直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2017.5.1 発行 責任者 島崎栄一

2017 米作リスタート！

生きもの調隊隊長 島崎真人



まだ肌寒い4月上旬に種まきをしました。農家にとっての種まき～苗代作業は親戚、兄弟、近所の農家 etc…と総動員で行います。良食味、豊作を願ってのお祭り騒ぎのような作業です。※種まきの様子はバタバタしていて写真撮り忘れました…。

ここから苗の管理をしながら、水路の堀上げ、畦ぬり、肥料散布、耕耘、代掻き…と田植えまでは怒涛の一ヶ月です。
そういえば子供のころから、「ゴールデンウィークは田んぼ仕事の為にある」と父

から教えられてきましたがそうなんですかね？
なにわともあれ、段取りを大事にして事故なくうまい米つくりを頑張ります。

稻作講座

青年部部長 倉田 健三

広報委員会、倉田です。今回お話するのは、第1回稻作講座です。

毎年技術は少しずつですが更新されます。改めてそれを見直しみんなで技術を共有し合う。
そして組合員の出荷するお米の品質を高い水準で一定にする。

これが1番大切なことです。

だからおきたま産直センターのお米は
「美味しい！」というお声がいただけるのです。



さくらんぼ注文受付開始



こんにちは！

父のもとで農業を学び、今年で5年になる平です。

もうすぐ山形名物「さくらんぼ」の時期です！

さくらんぼは収穫時期のとても短い果物ですが、りんごやラフランスと同様で、真冬の雪の積もる時から作業があります。



その作業は「剪定」と言って、さくらんぼの枝を切るのですが、切り方一つで果実の出来を左右するほどの大切な作業なのです。

これがもっとも頭を使う（悩ます）作業で、ベテランの農家さんですら頭を抱える事もあるそう！僕にとっても苦手な作業のひとつです…。



昨年は春先の凍害で不作でしたが、今年はみんなに美味しいさくらんぼをお届け出来るよう、今日もはりきって畠に行ってきます！

交流広報委員会副委員長 平 一晃

産直米変更連絡用紙

山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届日の10日前まで受付。

急な変更等は対応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様 NO _____ (納品請求書の左上 5桁の NO) FAX 送信日 月 日

氏名 様 ☎ - -

お休み連絡 月 日お届け分のみお休み
月～ 月までお休み

変更連絡 月 日お届け分の変更
～変更内容～

